

コハンミョウモドキ *Elaphrus punctatus* Motschulsky

【選定理由】

生息地が河川敷や湿地など湿性環境の陸上部分であることから、護岸工事などの影響を受けやすく、従来の生息地もそれによって失われた。

【形態】

体長 6.5mm 内外。体は黒色で弱い銅光沢を帯びる。肢は赤褐色。上翅には 4 点刻列があり、各点刻は眼状紋となりその中心は暗青色を帯びる。眼状紋の間は縦長で滑らかで鐘状となる。胸部下面は粗点刻が密にある。

【分布の概要】

【県内の分布】

小坂井町（佐藤, 1980）、春日井市（佐藤, 1980）の 2 ヶ所の記録があるにすぎない。

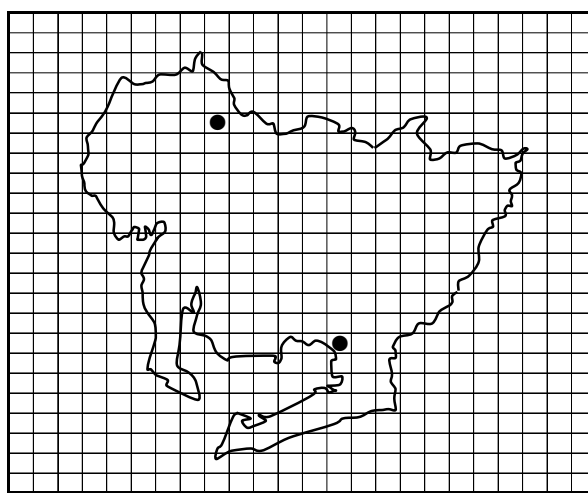
【国内の分布】

北海道、本州（中部以北）。

【世界の分布】

シベリア東部、中国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

河川敷や湿地などの湿った環境を好み、草間の地面に見られる。

【現在の生息状況／減少の要因】

護岸工事などによって既知産地が失われてしまって以降の生息情報はない。

【保全上の留意点】

芦原などの湿性環境の保全が大切である。

【引用文献】

佐藤正孝, 1980. 環境庁編 日本の重要な昆虫類 東海版: 84-92..

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)